

福祉でつながる。ひびきあう。新しい明日へ

Chidori

認知症バリアフリー宣言

Vol.
16

2022
Autumn



川面ちどり保育園(兵庫県宝塚市)

特集

ちどりのフレッシュな仲間たち
わたしたち、こんな地域・施設で
がんばってま〜す!!



大阪府	<p>幼保連携型認定こども園 智鳥保育園 〒571-0026 大阪府門真市北島町14番28号 最寄駅 地下鉄長堀鶴見緑地線「門真南駅」 TEL(072)881-3755 FAX(072)881-9505</p> <p>ナーシングホーム智鳥(特養、SS、DS、HH、訪問看護) 〒571-0026 大阪府門真市北島町12番3号 最寄駅 地下鉄長堀鶴見緑地線「門真南駅」 TEL(072)881-8201 FAX(072)881-8115</p> <p>茨田大宮地域在宅 サービスステーションちどり(HH、DS、ランチ) 〒538-0031 大阪府鶴見区茨田大宮3丁目8番33号 最寄駅 地下鉄長堀鶴見緑地線「門真南駅」 TEL(06)6914-7711 FAX(06)6914-7100</p> <p>くすのき介護センター市役所前 くすのき介護相談センター 〒571-0055 大阪府門真市中町11番96号 最寄駅 京阪本線「門真市駅」・「古川橋駅」 TEL(06)6902-8666 FAX(06)6902-8663</p> <p>大和田ちどり(小規模多機能ホーム・地域密着型認知症通所介護) 〒571-0079 大阪府門真市野里町26番17号 最寄駅 京阪本線「大和田駅」 TEL(072)883-0071 FAX(072)883-0086</p> <p>サテライト型サンハウス北島(デイサービス) 〒571-0026 大阪府門真市北島町2番16号 最寄駅 地下鉄長堀鶴見緑地線「門真南駅」 TEL(072)887-0117 FAX(072)887-0118</p> <p>門真第4地域包括支援センター(業務委託) 〒571-0026 大阪府門真市北島町12番3号 最寄駅 地下鉄長堀鶴見緑地線「門真南駅」 TEL(072)887-6540 FAX(072)887-6541</p> <p>大阪市鶴見区西部地域包括支援センター(業務委託) 〒538-0051 大阪府鶴見区諸口6丁目1番13号 最寄駅 地下鉄長堀鶴見緑地線「横堤駅」 TEL(06)6913-7878 FAX(06)6913-7888</p> <p>ケアホームちどり(特養、SS、DS) 〒571-0038 大阪府門真市柳町15番23号 最寄駅 京阪本線「古川橋駅」 TEL(06)6991-8361 FAX(06)6991-8362</p>	<p>幼保連携型認定こども園 東野田ちどり保育園 〒534-0024 大阪市都島区東野田町4丁目15番20号 最寄駅 JR環状線・東西線・京阪本線「京橋駅」 TEL(06)6358-1415 FAX(06)6358-1485</p> <p>幼保連携型認定こども園 城東ちどり保育園 〒536-0021 大阪府城東区諏訪3丁目6番33号 最寄駅 地下鉄中央線「深江橋駅」 TEL(06)6167-3755 FAX(06)6167-3855</p> <p>大阪市立東中本保育所 〒537-0021 大阪市東成区東中本2丁目3番16号 最寄駅 地下鉄中央線「緑橋駅」 TEL(06)6981-0208 FAX(06)6981-0130</p> <p>大阪市立北恩加島保育所 〒551-0031 大阪市大正区泉尾7丁目14番2-108号 最寄駅 地下鉄長堀鶴見緑地線・JR「大正駅」 TEL(06)6553-5521 FAX(06)6553-5521</p> <p>幼保連携型認定こども園 中之島ちどり保育園 〒530-0045 大阪市北区天神西町3番16号 最寄駅 地下鉄谷町線「南森町駅」・JR東西線「大阪天満宮駅」 TEL(06)6362-3755 FAX(06)6362-3766</p> <p>御堂筋本町ちどり保育園 〒541-0058 大阪府中央区南久宝寺町2丁目6-7 最寄駅 地下鉄御堂筋線・中央線「本町駅」 TEL(06)6282-3888 FAX(06)6282-3800</p> <p>新福島ちどり保育園 〒553-0006 大阪市福島区吉野1丁目5-1 最寄駅 JR東西線「新福島駅」・大阪環状線「野田駅」 TEL(06)6136-8660 FAX(06)6136-8645</p> <p>走谷ちどり保育園 〒573-0063 大阪府枚方市走谷1-1-10 最寄駅 京阪本線「光善寺駅」・「枚方公園駅」 TEL(072)846-2835 FAX(072)800-1750</p> <p>幼保連携型認定こども園 あまだのみやちどりこども園 〒576-0031 大阪府交野市森南2丁目15番1号 最寄駅 京阪交野線「河内森駅」・JR学研都市線「河内磐船駅」 TEL(072)892-1351 FAX(072)892-1460</p>
兵庫県	<p>宝塚ちどり(特養、SS、DS、HH、GH) 〒665-0047 兵庫県宝塚市亀井町10番30号 最寄駅 阪急今津線「逆瀬川駅」・「小林駅」 TEL(0797)73-0880 FAX(0797)73-0890</p> <p>中山ちどり(特養、SS、ケアハウス、DS、HH、GH、訪問看護、小規模、定期巡回) 〒665-0877 兵庫県宝塚市中山桜台1丁目7番1号 最寄駅 阪急宝塚線「中山観音駅」・JR宝塚線「中山寺駅」 TEL(0797)82-0201 FAX(0797)82-2525</p> <p>宝塚市立養護老人ホーム 福寿荘(外部特定) 〒665-0825 兵庫県宝塚市安倉西3丁目1番5号 最寄駅 阪急今津線「逆瀬川駅」 TEL(0797)86-3096 FAX(0797)86-7929</p> <p>宝塚米谷ちどり(ケアローンソ) 〒665-0831 兵庫県宝塚市米谷2丁目4-24 最寄駅 阪急宝塚線「清荒神駅」 TEL(0797)87-8211 FAX(0797)87-8212</p> <p>神戸垂水ちどり(特養、SS、ケアハウス、DS) 〒655-0016 神戸市垂水区高丸6丁目7番2号 最寄駅 JR山陽本線「垂水駅」・山陽電車「山陽垂水駅」 TEL(078)786-3755 FAX(078)708-5037</p>	<p>門真地域子育て支援センター(業務委託) 〒571-0064 大阪府門真市御堂町14-1 最寄駅 京阪本線「古川橋駅」 TEL(06)6904-8601 FAX(06)6904-8602</p> <p>川面ちどり保育園・川面ちどり保育園放課後児童クラブ 〒665-0842 兵庫県宝塚市川面3丁目24番13号 最寄駅 JR宝塚線・阪急宝塚線・今津線「宝塚駅」 TEL(0797)26-8156 FAX(0797)26-8157</p> <p>川面ちどり放課後児童クラブ(業務委託) 〒665-0842 兵庫県宝塚市川面5丁目10-10 最寄駅 JR宝塚線・阪急宝塚線・今津線「宝塚駅」 TEL(0797)81-1555 FAX(0797)81-1555</p> <p>御殿山ちどり放課後児童クラブ 〒665-0841 兵庫県宝塚市御殿山2丁目1-1 最寄駅 阪急宝塚線「宝塚駅」・「清荒神駅」 TEL(0797)62-6933 FAX(0797)62-6933</p> <p>神戸元町ちどり保育園 〒650-0012 兵庫県神戸市中央区北長狭通8丁目5番5号 最寄駅 神戸高速「西元町駅」・JR神戸線「神戸駅」 TEL(078)341-5580 FAX(078)341-5581</p>
奈良県	<p>高山ちどり(特養、SS、DS) 〒630-0101 奈良県生駒市高山町8030番地 最寄駅 近鉄けいはんな線「学研北生駒駅」 TEL(0743)70-1832 FAX(0743)71-2083</p> <p>高山ちどり別館(特養、SS) 〒630-0101 奈良県生駒市高山町8030番地 最寄駅 近鉄けいはんな線「学研北生駒駅」 TEL(0743)70-1011 FAX(0743)71-2083</p> <p>萩の台ちどり(特養、SS、DS) 〒630-0224 奈良県生駒市萩の台3丁目1番8号 最寄駅 近鉄生駒線「萩の台駅」 TEL(0743)76-2211 FAX(0743)76-2550</p>	<p>たかとりちどり保育園 〒654-0026 神戸市須磨区大池町5-10-15 最寄駅 JR神戸線「鷹取駅」 TEL(078)732-2500 FAX(078)732-2520</p> <p>幼保連携型認定こども園 いちぶちどり保育園 〒630-0222 奈良県生駒市若分町83番87号 最寄駅 近鉄生駒線「一分駅」 TEL(0743)76-2400 FAX(0743)76-2401</p> <p>グループホーム若分町ちどり サポートハウス若分町ちどり 〒630-0222 奈良県生駒市若分町83番2 最寄駅 近鉄生駒線「一分駅」 TEL(0743)76-1000 FAX(0743)76-1001</p>

Contents

- 4 特集
ちどりのフレッシュな仲間たち
わたしたち、こんな地域・施設でがんばってま〜す!!
- 8 施設紹介
- 9 2021年度法人事業報告
- 10 Chidori News
- 12 くんがいしょう
- 14 私の駆け出し時代・わたしのパワーフレーズ
- 15 広げようちどりの輪・編集後記

cover story

川面ちどり保育園(兵庫県宝塚市)

2015(平成27)年4月に開園した川面ちどり保育園は、宝塚駅(JR、阪急)から徒歩5分の山側にある保育園です。開放感のある屋上園庭からは六甲山系を望むことができ、春には宝塚大劇場に続く「花のみち」の桜並木をお散歩、夏には漫画家の手塚治虫さんが幼少期に虫取りをした千吉稲荷神社へ虫取りにと、自然に囲まれた環境の中、子どもも保育士ものびのびと過ごしています。



第14回法人研究発表大会

～コロナ禍を乗り越って、開催できました～

2022(令和4)年3月13日(日)に第14回法人研究発表大会を開催しました。前年度は新型コロナウイルス感染拡大により中止したため、2年ぶりの開催となりました。

今回も新型コロナウイルスの感染拡大は収まらず、法人研究発表大会委員会としても開催方法や感染対策について検討を重ねてまいりました。最終的には当初の開催予定日を延期して、感染者数が減ってきたタイミングを捉え、何とか開催することができました。これまでの大会と異なり、参加人数の制限や職員の健康管理など、一般的な感染症対策はもちろん、発表方法や大会内容の動画視聴、懇親会の中止など、様々な工夫を重ね、これまでにない形での開催となりました。それでも2年にわたりご準備いただいた発表者・協力者の皆さまの素晴らしい発表があり、無事に大会を終えることができました。

大会後もクラスターの発生や感染者を出すことなく、大会委員会としては、感染症対策に万全を期した努力が報われたと思っております。

今後も感染症の流行を始め、様々な危機や課題が生じることがあるかもしれませんが、これまでの経験を活かし、法人研究発表大会のような重要なイベントの開催が継続できるよう委員会として取り組んでまいります。



広報誌「Chidori」とは…

- ①職員参加型のコミュニケーション誌です。飛び込み参加、いつでも大歓迎。
- ②地域の皆様、ご利用者・ご家族も楽しめる誌面づくりを目指します。
- ③晋栄福祉会の「理念」や「事業内容」など、法人の根幹となる考え方を丁寧にお伝えします。

ナーシングホーム智鳥リニューアル!!

1993(平成5)年6月、法人最初の介護施設としてオープンしたナーシングホーム智鳥も今年、29周年を迎えました。当初より、法人介護部門7つの運営方針※『365日24時間体制』『どなたでもご利用可能』『利用者主体・利用者本位』『総合的なサービスの提供』『先駆的・先進的・専門的』『バisstekの七原則』『安心の介護・看護』を掲げてサービスの提供に努めてまいりました。
※詳しくは法人HP(www.chidori.or.jp/about/)をご覧ください。

29年間の内に、介護の現場も措置制度から介護保険制度へと移行し、特別養護老人ホームの形態も従来の一般型から、プライベートを重視した個室・ユニット型が利用者に求められる主流となってきました。当法人でも2005(平成17)年、宝塚市でのユニット型特別養護老人ホーム(宝塚ちどり)を皮切りに、生駒市や神戸市、門真市などで、ユニット型を次々とオープンしてまいりました。

この度のナーシングホーム智鳥のリニューアルは、法人がこれまで培ってきたユニット型特別養護老人ホームのノウハウを結集した最新施設として、現施設の隣接地に建設を進めています(2023(令和5)年春オープン予定)。

リニューアル後の定員は特別養護老人ホーム80名(現在50名)、ショートステイ20名(現在10名)、合計100名へと拡大します。また現在併設中の通所介護、訪問介護、訪問看護、居宅介護支援事業所、地域包括支援センターなどの事業は、新施設でも引き続きサービス提供を行ってまいります。

設備の一例ですが、2018(平成30)年以降、法人の新施設で採用している見守りシステム「ケアサポートシステム」を導入します。天井のセンサーがご入居者の動きを感知し、ケ

アスタッフのモバイル端末に通知する仕組みで、万一転倒などがあれば、すぐさま駆けつけることができ、その前後の録画から診断・治療に役立てることも可能です。IOTに限らず、ノーリフティングポリシーに基づくケアの導入など、先進的な考え方や機器を積極的に導入し、ご利用者はもちろん、スタッフにもやさしい環境にしていきたいと思っております。施設1階には、『地域交流スペース』を設け、近隣の方々との交流会や勉強会に利用する他、「ゆめ伴プロジェクトin門真」などの地域活動との連携に活用しようと考えています。

開設までに乗り越えるべき課題はまだまだ沢山ありますが、法人理念を胸に、これまで以上に良いサービスの提供を目指し、スタッフ一丸となって突破してまいります。皆様、これからもよろしくお願いたします。



工事の様子



完成予想図

わたしたち、こんな地域・施設で がんばってま〜す!!

介護編

仕事の流れ

9:00~【申し送り】
外国人スタッフにもわかりやすく伝えることを意識しています。



11:30~【食事の用意、薬の確認】
薬は間違えないように必ず2人で確認します。食事はご入居者の皆さんから美味しいと好評です。



14:00~【入居者と団らん】
「若いなあ、孫と同じくらいちやうか」と会話が弾みます。



17:00~【1日の記録の入力】
その日に起こった出来事を記録としてまとめます。誰が見てもわかりやすい文章を心がけています。



一瞬一瞬を大切に向き合う

神戸垂水ちどり
村上達哉さん
2021(令和3)年
4月1日入社



目指したいと思っています。

神戸垂水ちどりに入社してあっという間に1年が過ぎました。入社当初は不安なことだらけでしたが、先輩方の親切や心遣いに助けられながらご入居者と関わることで毎日充実した日々を送ることができています。

この1年間に数名の方の看取りに携わることがありました。この仕事を始めるまでは人の死に接する経験がほとんどありませんでしたので、なにをどうすればいいのか戸惑いました。そんな時に先輩から「もつとこつとしていればよかったと悔いが残らないようにしよう」として、「こ」で最期を迎えることができよかったです。ご入居者やご家族に思っていただけのように「こつ」と言われました。この言葉がきっかけで、自分自身ご入居者への向き合い方が変わったように思います。ご入居者との何気ない瞬間も大切な時間だと捉えて、だから信頼される介護職員を目指したいと思っています。

村上さんについて教えて

川上 裕也さん (ユニットリーダー)

村上達哉さんは新卒2年目、元気ハツラツな職員です。

入社したばかりのころ、教えてもらったことを必死にメモを取りながら、毎日悪戦苦闘していた姿があったことを懐かしく感じます。そんな村上さんも今ではレクリエーションの企画、運営をしたり、会議で積極的に発言する等、ユニットに欠かせない存在です。村上さんと接していると自分自身も見習うことが多く、とても良い刺激を受けています。



私の休日

休みの日はAmazonプライムでの映画鑑賞と筋トレに時間を使っています。元々身体を動かすことが好きで、筋トレはかれこれ1年くらい続けています。30代、40代と歳を重ねても体型を維持し、引き締まったお腹を目指しています。神戸垂水ちどりは職員用のトレーニングルームもあって最高ですよ。

筋肉 つきました! パワー!



仕事の流れ

10:00~【受診の付き添い】
今日は定期受診の日。ご利用者の健康状態について、医師、看護師と情報共有を行います。



11:30~【食事の用意】
ご利用者の状態、好みに合わせた飲み物、食事を用意します。



14:00~【屋上庭園へのお散歩】
色とりどりの花々に、外出が難しいコロナ禍でも、季節を感じることができます。



散歩の帰りは屋上のカフェスペースへ。会話にも花が咲きます。人生の知恵を教えてくださいののもこの仕事の魅力です。



「ケアの輪」をつなげるために

中山ちどり
伊藤天音さん
2020(令和2)年
4月1日入社



ケアホーム中山ちどり(特別養護老人ホーム)に配属となり3年が経ちます。普段はご利用者の身の回りの介護はもちろんですが、季節を感じていただけるようなイベントやレクリエーションの企画に取り組んでいます。入社当初は、ご利用者の顔と名前が致せず、戸惑うこともありましたが、一口で「一番長く関わるのが出来る入浴介助中に、様々なお話を聞かせていただくなど、徐々にご利用者像を深めていきました。介護について不安なことがあってもユニットリーダーや教育担当の先輩が決まっています。些細なことも相談できたことがとても支えになりました。

働く上で大切にしていることは、法人理念にもありますが、「よくコミュニケーションをとり連携すること」です。スタッフ同士のコミュニケーションは質の高いサービスを提供するためには不可欠だと思います。ご利用者の生活は24時間365日。自分が出動したときに良いケアをしても、個人だけでは支えられない仕事だと感じています。チームが一丸となって、バトンを渡すように「ケアの輪」をつなげていくこと。それがご利用者のいざいざとした笑顔になると思っています。

伊藤さんについて教えて

野村 美幸さん (同じユニットの先輩)

笑顔が印象的で、とても明るく元気一杯な伊藤さん。丁寧な接し方で、ご利用者からも孫のように慕われている人気者です。飲み込みが早く、任せた業務は自分で考えて取り組んでおり、安心して任せられることができます。今ではユニットに必要不可欠な存在です。

これからいろいろなことを経験して成長していく姿を楽しみにしています。



私の休日

普段はチームで仕事をするので、自分一人の時間も大切にしよう心がけています。

ここ数年はNetflixで韓国ドラマやゾンビドラマを観ることにハマっています。ゾンビ映画は怖いイメージがありますが、意外と韓国ドラマにも通じる心温まる作品もあり、おすすめです。歩くことが大好きなので、友達と散歩して、景色を楽しむこともあります。晴れた日は伊丹空港から飛び立つ飛行機も見えます。キャラクターのミッフィーが好きで、グッズを集め始めたところです。

飛行機も見えます



わたしたち、こんな地域・施設で がんばってま～す!! 保育編

仕事の流れ

- 1 8:30ごろ【自由遊び】
登園してきた子どもたちと一緒に室内で遊びます。
- 2 9:00ごろ【朝の会・おやつ】
元気に朝の挨拶を交わし、朝の歌や季節の歌を歌います。出席確認をし、一日の活動に期待がもてるように話をします。
- 3 10:00ごろ【活動】
その日の活動を行います。この日は「水遊びびらきのついで」があったので、水の仙人に扮して、子どもたちと水遊びの約束事を確認し合いました。
- 4 11:00【給食】
黙食を心がけつつ、子どもたちが給食の時間を楽しめるような援助をします。
- 5 12:30ごろ【連絡帳記入】
午睡の間に、一人ひとりの連絡帳を記入し、担任同士で午前中にあったこと等、情報の共有をします。
- 6 15:00ごろ【おやつ】
子どもたちと一緒に毎日の手作りおやつを楽しみにしています。
- 7 15:30ごろ【終わりの会】
季節の歌やお帰りの歌を歌い、今日の活動の振り返りをします。明日に期待をもてるように、話をし、元気に帰りの挨拶を交わします。
- 8 16:00ごろ【自由あそび】
友達や保育教諭と一緒に、好きな遊びを楽しみます。
- 9 17:30ごろ【お迎え】
保護者に一日の様子をお伝えし、一人ひとりと元気よく「さようなら」の挨拶をします。



中学生からの夢を叶えて

いちぶちどり保育園
さわむらふるか
澤邑 風香さん

2022(令和4)年
4月1日入職



私が保育教諭になりたいと思ったきっかけは、中学生の頃の職場体験でした。子どもたちの思いもよらない発想に驚いたり、楽しそうな笑顔を見たりして、この職業に就きたいと思いました。それからからは保育士と幼稚園教諭の免許が取れる大学に進み、今年の春に卒業しました。そして4月からは、いちぶちどり保育園で勤務しています。

現在は2歳児のクラスを担当しています。入職当初は分からないことばかりで戸惑いも多く、自分は保育教諭としてやっていけるのだろうかと不安に思っていました。しかし、周りの先生方にたくさんアドバイスを教えていただき、少しずつ園のことや子どもたちのことが分かってきました。子どもたちの成長を感じた瞬間はとてもうれしく、また同時に自分自身も日々成長していかなければと感じています。これからも子どもたちの思いや発見を大切にできる保育教諭を目指して頑張っていきたいと思っています。

私の休日

休日は、友達と遊びに行ったり、映画鑑賞に出かけたりします。最近は友達とカフェ巡りをしようという約束し、いろんなカフェを探しています。先日、お店の中にいっぱい絵本が並んでいる絵本カフェを見つけました。また7月に「KINGDOM III」の映画が公開されるので、楽しみに待っています。何も無い時は家でんびりと過ごします。

マイブームは
カフェ巡り



澤邑さんについて教えて

山下 令子さん

元気いっぱいの2歳児クラスの担任として日々子どもたちと向き合い、奮闘する姿を見ていると初心に返らされます。何事にも一生懸命取り組んでいて、物腰も柔らかく、保護者の方からも好感をもたれています。これからどんな保育をしてくれるか楽しみです。失敗を恐れず、様々なことにチャレンジして行ってほしいです。期待しています。一緒に楽しい保育をしていきましょう。



仕事の流れ

- 1 8:00ごろ【自由遊び】
乳児クラスと幼児クラスの2つに分かれて遊びます。
- 2 9:00ごろ【朝礼】
出席状況、子どもの様子を確認、周知事項を情報共有します。
- 3 9:30ごろ【朝の会】
元気に朝の挨拶をし、季節の歌などを歌います。出席や連絡帳の確認をし、一日の活動に期待がもてるように話をします。
- 4 10:00ごろ【活動】
その日の活動を行います。
- 5 11:30【給食】
食べられる量を調整しながら配膳し、子どもたちが給食の時間を楽しめるような援助をしています。
- 6 12:30ごろ【お昼寝】
保護者へのその日の活動報告の記入や持ち物の点検をします。
- 7 15:00ごろ【おやつ】
おやつ時間。私も子どもたちと一緒に毎日のおやつを楽しみにしています。
- 8 15:30ごろ【終わりの会】
季節の歌やお帰りの歌を歌い、今日の活動の振り返りをします。明日に期待をもてるように話をし、元気に帰りの挨拶をします。
- 9 16:00ごろ【自由あそび】
友だちや保育者と一緒に、好きな遊びを楽しみます。
- 10 17:30ごろ【お迎え】
保護者に一日の様子をお伝えし、一人ひとりと元気よく「さようなら」の挨拶をします。



初の一人担当で日々成長

東中本保育所
ありよしゆか
有吉 由花さん

2018(平成30)年
4月1日入職



子どもの頃に6つ年下の妹とその友だちに関わることもあり、お姉さんとしてみんなを引っ張って遊んで楽しかったこと、そして、職場体験で保育士という仕事に興味を持ったことで、保育士として働くようになりました。

実際に現場に出てみると、学校の授業や実習だけでは分からないことがいっぱいあり、毎日ドキドキでした。しかし、分からないことは質問すると快く答えてくださる先輩方ばかりで仕事にも慣れていきました。入職して5年目になり、今年度は3歳児クラスを担当しています。初めての一人担当ですが、今までいろいろと経験されてきた先輩方に相談し、アドバイスをもらいながら、日々、保育に励んでいます。子どもたちと一緒に遊びを楽しみ、保育所全体で連携し、これからも頑張っていきたいと思っています。

有吉さんについて教えて

瀬戸 菜美子さん

何事にも真面目に、また先輩保育士からアドバイスや指導を真摯に受け止めすぐに行動に移しています。そして彼女の特技であるピアノは聴いていて惚れ惚れするほどの腕前で尊敬しています。

また、大らかな性格で子どものことをゆったりと受け止め、他の保育士がしんどいと思うことにもコツコツと根気強く取り組むことができるので、今後も経験を積みながら東中本保育所を引っ張っていける保育士になってほしいと思っています。



私の休日

休みの日は家でゆっくりと過ごすことが多いですが、ランチに出掛けることも好きです。地元の生駒やならまちなどには素敵なカフェがたくさんあるので調べて気になった所へ行っています。



おいしい
ランチ

豪華な
ケーキ

2021(令和3)年度決算報告書

(単位:千円)

貸借対照表	
資産の部	
	当年度末
流動資産	2,149,903
固定資産	17,510,974
資産の部合計	19,660,877
負債の部	
流動負債	1,699,603
固定負債	8,741,869
負債の部合計	10,441,472
純資産	
純資産部合計	9,219,405
負債及び純資産の部合計	19,660,877
事業活動収支計算書	
勘定科目	本年度決算
サービス活動収益計	7,913,997
サービス活動費用計	7,455,864
サービス活動増減差額	458,133
サービス活動外収益計	156,763
サービス活動外費用計	91,667
サービス活動外増減差額	65,096
経常増減差額	523,229
特別収益計	130,223
特別費用計	131,985
特別増減差額	-1,762
当期活動増減差額	521,467
次期繰越活動増減差額	4,418,796
資金収支計算書	
勘定科目	本年度決算
事業活動収入計	8,068,583
事業活動支出計	7,037,675
事業活動資金収支差額	1,030,908
施設整備等収入計	186,798
施設整備等支出計	1,096,820
施設整備等資金収支差額	-910,022
その他の活動収入計	21,974
その他の活動支出計	152,412
その他の活動資金収支差額	-130,438
当期資金収支差額合計	-9,552
前期末支払資金残高	1,320,321
当期末支払資金残高	1,310,769

法人役員名簿

役職	氏名
理事長	濱田 和則
理事	大草 亘
理事	瀬川 央
理事	濱田 智
理事	松尾 幸則
理事	大北 淳
評議員	生田 篤也
評議員	川田 和子
評議員	菅 幹夫
評議員	藤岡 新昌
評議員	松下 憲一
評議員	水崎 勝
評議員	深尾 正
監事	三好 隆夫
監事	吉本 悟史

2022(令和4)年3月31日現在

総括

1) 介護事業

2022(令和4)年3月23日、日本認知症官民協議会が実施する、認知症バリアフリー宣言事業の参画企業・団体に登録されました。

2021(令和3)年12月、ナーシングホーム智鳥の建て替え工事を開始しました。

2021(令和3)年12月、大阪市鶴見区西部包括支援センターの運営委託事業者に選定されました。

2) 保育事業

2021(令和3)年11月、門真市地域子育て支援センターの運営事業委託事業者に選定されました。

2021(令和3)年11月、門真市立放課後児童クラブの運営事業委託事業者に選定されました。

グループホーム(認知症対応型共同生活介護)特集

グループホーム 中山ちどり (兵庫県宝塚市)

グループホーム中山ちどりでは、認知症のある高齢者の方が2ユニット(定員18名)で、家庭的な雰囲気の中、職員の自立支援により、自主性のある生活を営んでいます。

建物の中心には光が差し込む広い中庭があり、開放的な環境が特長です。ベンチに腰を掛けてひなたぼっこを楽しまれたり、職員と一緒に洗濯物を干したり、花や草木に水やりを行ったりと、季節を感じながら日々暮らしています。

認知症ケアとして、ユマニチュードに力を入れています。ユマニチュードとはフランス語で「人間らしさ」を意味しており、「見る」「話す」「触れる」「立つ」ことを柱にしています。職員が「同じ目線に立ち、背中に優しく触れること」をケアの中に取り入れることで、ご入居者は安心感が高まり、ケアを受け入れやすくなる効果があります。今までご入居者の様々な認知症の周辺症状を緩和してきました。ご入居者が「その人らしい普通の暮らし」ができるよう、これからもサポートさせていただきます。



グループホーム 宝塚ちどり (兵庫県宝塚市)



グループホーム宝塚ちどりは2005(平成17)年10月、特別養護老人ホーム宝塚ちどりと同時に開設され、今年で17年目になります。晋栄福祉会では1番目にできたグループホームです。認知症の方でも暮らしの中で役割を持ち、自分らしく「ご自宅での暮らしの延長」として過ごせるように、職員が日常生活のサポートをさせていただきます。ご利用者それぞれが役割を持たれて、朝夕届いた新聞の取り入れをしてくださる方、毎日の洗濯物をたんで所有者別に分けてくださる方、テーブルを拭いたり掃除機をかけてくださる方など様々です。

グループホーム宝塚ちどりの特徴として、日々の食事は職員とご利用者が手作りしています。食材を切る音が聞こえ、ご飯の炊けるいい匂いが漂ってくると、食事の時間が近づきます。ご利用者に盛り付けや簡単な味付けなどをお手伝いいただくと、長年の経験が光ります。

食卓を囲み、グループホーム宝塚ちどりが、皆様にとって「安らげる居場所」となるように日々取り組んでいます。

グループホーム 杏分町ちどり (奈良県生駒市)

周りは、スーパー、ドラッグストア、衣料品店が並び、生駒山もよく見える緑の多い場所です。保育園が隣接しており、子どもたちが散歩から帰ると「ただいま～」とかわいい声が聞こえます。玄関にはご利用者の方と植え替えたお花がきれいに咲き並んでいます。ご利用者が安全・安心で楽しく過ごしていただくのは当然として、ご家族もそのご様子を共有して安心していただくことが大切だと思っています。

そのため、ご家族の皆様にはLINE登録していただき、外出や行事、散髪をしているところ、食事、レクリエーション、入浴後のさっぱりした笑顔など、日常の写真をお送りしています。また、今ご利用者が伝えたいこと(例えば、「今日は会えてよかった」「元気よ～」「〇〇ちゃん入学おめでとう」)の動画や、退院して歩行出来た動画などもお作りしてご家族と一緒に喜んでいただきます。

朝の出来事を夕方には忘れてしまっても、瞬間の思い出を残したいと思っています。「施設に入所して良かった」と皆が感じられるように1日1日を大事に笑顔で過ごせるケアを行っていきます。



たかとりちどり保育園

異年齢保育で育つ子どもたち

たかとりちどり保育園では、3、4、5歳児は、3つの縦割りの異年齢グループに分かれて1日を過ごしています。グループは3年間変わりません。5歳児が卒園すると、そこに2歳児クラスから進級した3歳児と新入園児が入ります。3年間同じグループで兄弟姉妹のように過ごします。毎日互いに刺激を受け、たくさんのお話を聞き、育ち合っています。

遊びの面では「お兄ちゃん、お姉ちゃんのようにやってみよう」と年下の子どもたちが挑戦する姿がたくさん見られます。生活面では、5歳児は困っている年下の友だちを見つけると、「手伝ってあげようか?」と声をかけ、一緒に身の回りのことに取り組んでいます。保育士は、生活や遊びの中で人とつながることを心地よいと感じ、人と関わる力が身につくよう働きかけ、保育しています。答えを教えるのではなく、子どもたちと一緒に悩み、考え、工夫し、自分たちで解決できるように、保育を進め、私たちも子どもたちと一緒に成長していきます。



走谷ちどり保育園

保育園は、子どもたちが輝くところ

走谷ちどり保育園は、様々な取り組みを通して子どもたちの成長を助けながら見守っています。開園当初から、月1回サッカー体験に取り組んできました。3歳児はコーチの話を聞き「だるまさんがころんだ」で体をほぐします。動く、止まる動作は3歳児には難しいようですが、楽しんでいます。4歳児は「だるまさんがころんだ」が始まると、アウトにならないように集中しています。動いてしまった時、悔しがるのが4歳児です。5歳児は「だるまさんがころんだ」の間ボールを蹴り、止まる時は足でボールを止めます。難易度は格段に上がりますが、さすが5歳児。コツをつかんでいきます。紹介したサッカー体験の年齢に合わせた指導は保育にも通じるところがあり、私たちも学んでいます。この他、食育活動、季節ごとのプール遊び・水遊びや朝のたいそうなどを行っています。

保育園は、このような活動を通して子どもたちが日々成長する姿を見ることができ、そして、同時に、私達も成長していける魅力ある職場です。



東野田ちどり保育園

魅力ある取り組みがいっぱい

子どもたちが自主的にやりたいと思った遊びに本気で打ち込める環境を整えています。

スタートから丸5年になるとうしているInstagramでは、日々の保育の様子や毎日の給食を投稿しています。「心を満たす保育」の一つとして、緊急事態宣言中に「インスタ保育園」という形で毎日10時にアップしてきました。それぞれの担任の持ち味が出ていておもしろいですよ。「職員の休日」の投稿は特に興味深いものがあります。ぜひ一度ご覧ください。

令和の時代を生きるテーマは「バランス」と言われています。高め合う人間関係、話し合える人間関係、支え合う人間関係、これが自園の魅力です。「自分の機嫌は自分で上げる」。特にパーソナルカラー研修は、女子力を上げる研修内容で活気あるものになりました。常に失敗を恐れずチームでカバーし合いながら進んでいきたいと思っています。



大和田ちどり

リニューアルしました!!

この度、大和田ちどりは日本財団の「もう一つの“家”プロジェクト」事業の助成を受けることになり、大幅な改修工事を実施しました。施設が住宅街の中にあり、民家を改装した施設であったため、分かりにくいという声もいただいていたので、この改修で地域の皆さんから、今まで以上に認知していただけるのではないかと考えています。

改修の中身ですが、古くなっていた敷地内のアスファルトをご利用者が歩きやすいように舗装し、建物の門扉をキレイにして、目隠しフェンスや、看板もリニューアルしました。また門を入って左側の日本庭園風の庭は(景観は良かったのですが)、ご利用者が庭で過ごされるには狭かったため、縁側からスロープを設置して、広く使えるよう整備しました。この庭で、地域の方々にご利用者がより交流しやすくなるのではと期待しています。おかげ様で、工事は6月末に無事完了しました。ぜひ一度開放的になった大和田ちどりにお越しいただけたらと思います。職員一同心よりお待ち申し上げます。



萩の台ちどり

職員向けおむつ研修

萩の台ちどりでは、毎年、職員を対象におむつ研修を行っています。普段のおむつ交換が正しい方法で介助できているか確認しつつ、様々な使い方を学ぶことができます。研修で得た技術を日頃の介護に活かすことにより、質の高い介護を目指しています。おむつの使用に際して、ご利用者の状態によって方法を変えるなど工夫が必要な場面が多くあり、基本に立ち返りながらも、新たな知識を身に付ける場になっています。

常にご利用者にあった介護方法を模索し続けることは、排泄介助に限らず介護全般にとっても大切なことです。そのためスタッフ同士の研修の他、外部から専門のアドバイザーをお招きし、講義いただいて、最新のおむつの特性や専門知識を習得できるよう心掛けています。コロナ禍ですが、少人数ずつ複数回に分けて行うなどの工夫をして、できるだけ多くのスタッフが受講できるようにし、施設全体のスキルアップにつなげていきたいと思っています。



J1研修で学びと同期との交流深める

法人では、職員のグレードごとに合わせた研修を開催しています。企画・運営は「研修委員会」が行います。グレードは、J1は初級(入職~3年程度の若手)、J2は中級(中堅、後輩を指導するリーダー)、J3は上級(ベテラン、次世代の管理職を目指す者)に分かれており、各グレードとも年3回(J2、J3は他に振り返り研修もあり)の開催を予定しています。

今年も6月14日からJ1研修が始まりました。J1研修は、仕事のスタートに必要な知識や、社会人・職業人としての心得を学ぶスタートアップ研修です。コロナ禍のためオンラインでの実施となりましたが、各保育園(所)・高齢者施設から新入職員の皆さんが参加し、真剣な面持ちで講師の先生のお話に聞き入る姿が印象的でした。J1研修は学びの場であるのはもちろん、互いに交流することの少ない昨今、新人職員同士で意見を交換し親睦を深める機会にもなっています。グループワークでは、「仕事の中での工夫」や「仕事で難しいと感じる点」、「社会人として楽しめている点」など、苦労や成功体験を共有し、分かち合ってもらおう予定です。「部署や配属は違っても同期の仲間がたくさんいるんだ」と再認識できる機会になればと願っています。



くんがいしょう

のびのびと遊べる環境を大切に!!

北恩加島保育所

元気に活動できる所庭がある北恩加島保育所では、毎日のびのび子どもたちが遊んでいます。

春には、草花が咲き、色や匂いに気づき、虫が顔を見せ始めるとバケツを片手に「ダンゴムシ見て! 捕まえたよ〜!」「かわいい〜」と、発見がたくさんです。夏になると、どろんこ遊びや水遊び! 「冷たい〜」と水や泥の感触を楽しんでいます。秋には子どもたちが輝く運動会! いつも遊んでいる所庭に、たくさんのお家の方々ややってきて、いつもと違った雰囲気を感じつつも、日頃の頑張りを認めてもらえることにワクワクする子どもたち。冬にはたこあげやマラソン。「寒い!」と身体を震わせつつも、走っていると体が温まり、気持ちよさを感じられます。

コロナ禍ではありますが、子どもたちが外でのびのびと遊べる環境は大切にしています。



「あさひ・ひかり・にじ組さ〜ん! みんなあ〜つまれ!!」

あまだのみやちどりこども園

令和2年度、公立から民間園となりスタート! 令和3年度には新園舎が完成し、お引っ越し! コロナ! コロナ!! で、収束することなく今年3年目の春を迎えました。この2年間で培ったノウハウを活かし、行事もアイデアを出し合い、子どもたちの姿を観ていただく事にしました。第一弾は、乳児クラスの触れ合い遊び運動会です。2年間ほとんど保育参観ができず、ゆっくりと子どもたちの様子を見ていただくことが叶わなかったため、保護者の皆様には不安や心配もあったのではないかと思います。今年度は乳児と幼児の日程を変えて園庭で運動会を行いました。乳児はクラスごとに親子で触れ合い運動会を開催します。はらべこあおむしさんやミッキー・ミニーに変身した可愛い姿、追っかけ木の実入れ、体育遊具を使った触れ合い遊び、抱っこやおんぶをしてもらい子どもたちは笑顔いっぱい。熱中症対策でお茶も準備し好評でした。第二弾は、4・5歳児の平日参観と試食会が始まっています。3・2・1・0歳児と続きます。また9月には平日敬老参観も実施。まだまだ全員揃って! とまではいきませんが発信を続けていきます。



「れんか畑」での交流

智鳥保育園

グループホーム「ソラストれんか門真」の畑仕事作業を隔週水曜日に3歳児が参加しています。1年を通じて、いろいろな貴重体験をさせていただいています。

作物の生長を観察させていただき、草取り作業を行い、そして収穫の喜び、季節によって収穫できる野菜の違いや収穫時期、花に集まる虫採集や畑の土の感触等、子どもたちにとっては、興味いっぱい不思議体験満載です。

そして、子どもたちの「なあに?」「どうして?」に優しく返事をしてくださる入所者の方々がおられます。はじめは、虫に触ることもできない、草むらに入れない、入所者、ボランティアの方々に挨拶もままならない子どもたちですが、草むらを自由に走り回り、虫取りに熱中し、花束を作り、思い思いに活動を楽しむ姿が見られるようになります。そして、何より、「おじいちゃん!」「おばあちゃん!」と駆け寄り子どもたちと入所者さんの笑顔がはじけます。

れんか畑での交流も5年目になりました。この交流をいつまでも大切にしていきたいと思っています。



「屋上喫茶」で優雅なひととき

デイサービスセンター中山ちどり

コロナ禍で思うように外出する機会がないご利用者に、いつもと違った雰囲気の中で優雅な時間を過ごしていただきたいと考え、初夏のある日、「屋上喫茶」を実施しました。事前に皆様にメニューを見て好きなケーキを選んでいただきました。「美味しそう」「一番大きいケーキがいい」「チョコもクリームも食べたいね」など、ケーキ選びから、ご利用者同士、笑顔で相談し合っておられました。

いざ屋上へ。当日は天候に恵まれ、少し暑いぐらいの快晴。屋上に上がると「眩しい」「こんなに外は暑くなっているんやね」と、屋上散歩が始まりました。季節の花々を見て「なんていうお花?」「これは食べられる実かな?」「伊丹空港が見えるわ」「私の家は見えるかな」と大盛り上がり。ケーキを召し上がるご利用者の間を初夏の風が通りすぎていきます。住み慣れた街並みの新緑を眺めながら、いつも以上に会話が弾む清々しい一日となりました。今後も、今の状況の中で何ができるかを考え、「楽しみのあるデイサービス」をつくっていきたいと思います。



とくし丸号がやってきた

ケアホームちどり

ケアホームちどりで、初めての出張販売を実施しました。業者は、「とくし丸」という名称で、2012年に徳島県で創業され、地域のスーパーと提携して、各地で活動されている移動スーパーです。今回来られた「とくし丸」は関西スーパーと提携しており、徐々に規模を拡大して、現在22台の販売車を稼働中とのこと。

販売初日、ご利用者の中には開店前より楽しみにされ、並んでおられる方もおられました。「とくし丸」の車内には約300種類の商品があり、日用品やお菓子の他、惣菜、刺身、漬物、デザートなどの冷蔵品もあって、まさに「コンパクトなスーパーマーケット」でした。ご利用者は自分で買い物カゴを持ち、商品をいっぱい入れながら、「やっぱり自分で選べるのはいいわ。嬉しい」「次はいつ来るの? また必ず参加するから教えて」と、想像以上の喜ばれようでした。

今後も利用者の方に喜んでいただけるよう、定期的の実施したいと思います。



年に一度の鬼退治 ご利用者は桃太郎?

高山ちどり・高山ちどり別館

高山ちどり、高山ちどり別館では、毎年2月3日に年中行事として節分行事を行っています。今年もスタッフが赤鬼に大変身! ご利用者は鬼に扮したスタッフへ紙を丸めて作った特製豆をぶつけ、邪気を祓いました。

本格的な鬼の登場に、「いやー、怖いー」と怖がられる方、「すごいなあ」と喜んでくださる方、鬼が近づくと声は出さないものの顔をグッとしかめる方など、ご利用者ごとに色々なアクションを返してくださいました。いざ豆まきが始めると、ご利用者は普段見たことないほど力いっぱい豆を投げつけて鬼退治。あまりの勢いに、鬼の目にも涙…。見事鬼をやっつけることができました。豆まきの後は鬼と仲良く(!?)一緒に記念撮影。普段と違う雰囲気に皆様も楽しんでくださったようでした。

これからもご利用者の笑顔を引き出す楽しいイベントを開催できるよう尽力していきます。



編集後記

新型コロナウイルス対策も3年目。各施設とも日々の仕事内容や行事の短縮化・簡略化を心がけて、今までの取り組みを見直すこととなりました。

大変でしたが、結果的にはよいこともありました。感染対策の徹底(マスクの着用、手洗い、消毒等)をすることで、子どもも大人も命の大切さに気付かされました。常に密にならないように距離をとって過ごすことも余儀なくされましたが、その分、人との繋がりの大切さや安心して同じ場所・時間を過ごすことの素晴らしさを改めて感じさせられました。

こうした各施設の創意工夫といきいきと働いている仲間を紹介する今回の特集が、職員が晋栄福祉会で働くよさを再確認し、さらに、多くの人に読んでいただき晋栄福祉会で働いてみたいという思いにつながることを願っています。

社会福祉法人 晋栄福祉会
『Chidori』16号
2022(令和4)年10月発行

編集・発行責任者 濱田 和則
発行所 社会福祉法人 晋栄福祉会
(法人連絡先)
〒571-0026
大阪府門真市北島町14番28号
社会福祉法人 晋栄福祉会
TEL (072)881-8202
FAX(072)881-9505
E-mail home@chidori.or.jp
http://www.chidori.or.jp/
採用HP:http://www.chidori.or.jp/recruit_chidori/

社会福祉法人 晋栄福祉会 広報委員会
広報委員長 高田 幸代
(東中本保育所 所長)
広報委員 鶴賀 直土
(中山ちどり 課長)
上野 理生
(たかとりちどり保育園 園長)

編集担当 岩佐 俊英
(法人事務局 広報担当)

本誌記載の所属(肩書)は、
2022(令和4)年8月末現在のものです。

広げよう

ちどりの輪

テーマ 私の秘密の特技

周りにはあまり知られていない、あなたの秘密の特技を教えてください。



ナーシングホーム智鳥
グエン ティ イエン



宝塚ちどり
尾崎 馨一郎



ケアホームちどり
岩崎 ひかり



高山ちどり別館
チャン ティ トウ チャン



神戸垂水ちどり
矢田 訓一



中山ちどり
東野 優希



城東ちどり保育園
西村 早織



御堂筋本町ちどり保育園
井上 陽奈



新福島ちどり保育園
山崎 哲弘



あまだのみやちどり子ども園
松下 保江



神戸元町ちどり保育園
島本 智世



たかとりちどり保育園
伊藤 愛朗

私の 駆け出し時代



「“失敗”もポジティブにとらえ 自分の成長のきっかけに」

神戸垂水ちどり
施設長代理 森本 誠

私は、2003(平成15)年4月、25歳の時に介護福祉士の養成校(夜間部)に入学しました。当時は不況による企業の倒産や合併、従業員のリストラ等が、私の身近なところでも聞かれるようになっていました。そのような中、介護保険制度が施行され、成長が見込める介護業界なら、長く安定して働くことができるのではないかと、それまで勤めていた会社を辞めて養成校への入学を決めました。入学の際、日中のアルバイト先を養成校から紹介してもらったのですが、そのアルバイト先こそが晋栄福祉会であり、19年が経った今でもお世話になり続けています。

さて、私が最初に配属されたデイサービスのご利用者に、細かな対応が必要な男性がおられました。新人職員の私が接することはなく、いつも先輩職員が対応をしてくれていました。そんなある日、そのご利用者が突然過呼吸状態になられ、近くにいた私に「お前、袋を持ってこい」と、苦しそうな表情で叫ばれることがありました。慌てた私は45ℓのビニール袋を持っていき、「こんなん持ってきやがって」と、大変お叱りを受けました。しかし、この一件以降、そのご利用者から声をかけてもらえるようになり、先輩職員しか対応できなかったことも少しずつ行えるようになっていきました。

この失敗から成長につながった貴重な経験は、「失敗」が決してネガティブなものではないと思うきっかけになりました。そして今でも日々、失敗の数を更新し続けています(笑)。

わたしの パワーフレーズ my power phrase

今回のフレーズ 「やりたいと思う事を一生懸命やろう!!」
～思いが大切! 気持ちは必ず伝わるはず～

たくさんの人と関わり、たくさんの喜びが溢れる反面、うまくいかないことや反省することも多い福祉の仕事。このコーナーでは、心に響いた言葉とそれにつながるエピソードを紹介します。

保育士6年目で初めての転勤。違う環境の中で、自分では一生懸命やっているつもりなのに、子どもや保護者との関係を上手く築けず、何をやっても裏目に出てしまう…。「もう、続けられないかも」と強い挫折感。そんな時、所長から「自分の思うように、やりたい保育を一生懸命やればよい」「何かあればフォローする。そのために所長がいるのだから」と折れた心に強いパワー!をいただいた忘れられない言葉です。

そんな言葉が言えるような先輩になっていきたい!! と思いながら今日まで走り続けて〇〇年。「こんな事・あんな事をしたいなと思う気持ちをたいせつに!!」これからも歩んでいきたいと思えます。

中之島ちどり保育園 園長 小林 操 2014(平成26)年4月入職

